



ここは、とある町にある一風変わった診療所。悩みを抱えたユーザインタフェースたちがやってきます。Dr. ナカムラと一緒に病気を治してあげましょう。さて、今日の患者さんたちはどのような悩みを抱えているのでしょうか・・・

Dr. N「次の方どうぞ～」

患者「こんにちは。私は、3ヶ月前に診断いただいた、とあるイベントで8万人のボランティアを集めるために作られたウェブサイトです。おかげさまで20万人の登録がありましたので報告に来ました！」

Dr. N「結局あの後、改善したんですか？*1」

患者「いろいろ頑張って修正しました。まず各種項目の入力を日本式に直しました。あと1～6まである各STEPのページの一番下に次のSTEPへの移動ボタンを置きました！（図1）」



図1 ページの下にSTEP 2へのボタンができた

Dr. N「おっ、頑張りましたね。前のままだと他のSTEPに行くには一番上に戻らなきゃいけなかったですからね」

患者「それに、以前は全STEPのエラーを一気に出したのが不評だったので、STEP単位で処理し、加えてそれぞれの入力場所に問題点を表示するようにしました！（図2）」

図2 入力エラーが有ることをその場所に提示

Dr. N「そうそう、これでいいですよ。これから先のSTEPで入力するはずの項目まで「未入力エラー」にされてはたまりません。…あれ？、でもここ（図2下部）はまだ姓と名の順番が逆ですね」

患者「修正し忘れていました。今度修正しておきます！」

Dr. N「あれ？ カレンダーの入力はDDMMYYYYのままですよ（図3左）？ 日本式（YYYYMMDD）に直したって言いませんでしたっけ？」



図3 入力順がガイドと違う、しかも漢字？

患者「すいません。例文を修正し忘れてました。入力はこちらと受け付けますのでやってみてください」

Dr. N「じゃあ19860615っと、あれ？ エラーになりますよ」

患者「あっ、だからそこは『日本式』で『1976年6月15日』と入力してください（図3右）！」

Dr. N「えっ、数値だけじゃだめなんですか？」

患者「その方が日本人にはわかりやすいでしょ！ 僕、前回診察いただいて色々学びましたので！」

Dr. N「いやいや。これは『年』『月』『日』という文字をいちいち漢字変換しながら入力しなくちゃいけないのでかえって面倒ですよ。数字だけをYYYYMMDDと入力するか、もし年月日を漢字で出したいのなら、『年』『月』『日』の入力欄を分けるようにしてください」

患者「ありがとうございます」

Dr. N（しばらく試して）「…そのほかは、概ね問題がなさそうですが…。あれ？ここで『その他の言語』を選択できる部分に、なぜか他の言語と一緒に『手話』が並んでるんですが…（図4）」

患者「はい、本大会ではパラアスリートや参加者の為に手話が話せるボランティアを募集しています！」

Dr. N「いやいや、単に『手話』といっても言語によって異なりますし、そもそも同じ言語でも複数の種類がある場合

*1 余りにも修正箇所が多かったため、「3ヶ月後に再診」となっていました（第28回参照）。

図4 他の言語の選択フォームに『手話』が…

もあるので、全部一緒くたにしてはだめです。もし手話が話せることを重視するのであれば、他の言語と混ぜるのではなく、別に詳しい入力フォームを用意すべきでしょう」
患者「そうですか。今回は無理ですが4年後までにはなおしておきます」

Dr. N「さて、一通り入力できたので送信っと。あれ？ なんですかこのエラーは？ コードなんて知りませんよ」

患者「あ、そこは提携先との連携処理のためなので、ほとんどの方は関係ありません。なので『2020』と入力してください！」

Dr. N「なぜっ！？ (図5)」

図5 コードを持っていない場合は全員『2020』と入力！

今回の症例はいかがでしたか？ 読者の皆さんも、なぜこのような問題が発生したのか、どうすれば改善できるのかを考えてみてください(下のカルテはあくまでその一例です)。なお、よりよい改善方法を思いついた方や、Dr. ナカムラに診てもらいたい患者をご存じの方は、<http://up.badui.org/> にご一報ください。



担当医：Dr. ナカムラ

BADUI 蒐集家。

日々新たな BADUI との出会いを求め、カメラ片手に世界を飛び回る。

BADUI 図鑑「失敗から学ぶユーザインタフェース (技術評論社)」を出版。

Dr. トモクフの UI トリビア

「コード入力」の例のように、「処理する側の都合」しか考えないシステムは BADUI になりがちじゃ (ユーザにとって「2020」というコードは何の意味も持たないので混乱の元でしかない)。この場合は例えば「空白であればデフォルトの内部コード (2020) を割り当てるが、ユーザにはコード番号を『見せない』」ようにすべきじゃろう。

診療カルテ	
ID	BADUI-29
氏名	重症なボランティア募集サイト(2)
原因・主要症状・経過など	様々な問題があったのを治す再診 エラー表示、カレンダーのエラー、ページ下部のナビゲーションなど改善!! ・カレンダーの入力が日本語に ・手話の扱いが改善 ・謎のコード入力
処方・手術・処置など	・エラーは入力に数字だけに絞る ・無理なら入力のガイドを日本語版に ・手話は別途入力フォームを設ける。 ・ムダな2020などの入力は要しない (入力必要ならちゃんと目立たせる)
2019/8/15	カルテ28のボランティア募集サイトさんが色々治したらしく再診 ・カレンダーのエラー改善 ・大量のエラーメッセージ問題改善 ・エラーメッセージの表示! 改善しようとした点が良い 改善による新たな問題 ・カレンダーで「1976年6月15日」と数字・漢字混在で入力する必要有 (しかもDDMMYYYYという形式) 他の問題 ・重要な手話の扱いが複雑 ・ムダなコード入力問題。 改善は簡単じゃない!!
	18才 聡史 (明治大学)